

映画の小箱

一家の絆、料理好きで人のよいビッグ・ママが亡くなる。3家族は陰悪の雰囲気にもまれるが…。

『ソウル・フード』 家族の絆と触れ合い そして亀裂…

金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru

主人公はアマッド(ブランドン・ハモンド)少年。彼の眼を通して、ソウル・フードをつくり、いつも家族に明るさを振りまく、おばあちゃんマザー・ジョー(イルマ・P・ホール)と、マザーの娘たちと家族の物語が繰り広げられる。

一家の絆となる料理好きで人のよいマザーはビッグ・ママとも呼ばれ、孫アマッドや近所の人たちから親しまれている。彼女には三人の娘がいて、それぞれの道を歩んでいる。

ナマズのフライ、フライド・チキン、パイナップルのパイ、スウィート・コーンなどなど、茶系のグラデーションの色彩も鮮やかな、できたての料理が画面いっぱいにあふれる。香りがこちらまで漂ってきそう。一家が集まり食事をするのがテーマになったこの料理は、ソウル・フードと呼ばれる。ソウル・フードとは、黒人料理のこと。いわば家庭料理のだが、そこには家族の絆を育む、まさに「魂」が込められていることから、ソウル・フードと呼ばれる。



三人の娘はそれぞれ異なる道を歩んでいる。長女テリー(ヴァネッサ・L・ウィリアムス)は優秀な弁護士で、夫マイルス(マイケル・ビーチ)も弁護士。家族では出世頭であり稼ぎ頭だ。次女マキシン(ヴィヴィカ・A・フォックス)は主婦、そして少年アマッドのママ。夫ケネス(ジェフリー・D・サムズ)とはとても仲がいい。三女バード(ニア・ロング)は美容師で、前科のあるレム(メーキー・ファイファー)と結婚する。

話は、アマッド少年とマザーを中心に、三つの家族のそれぞれのドラマをからめながら進展していく。

三女バードの結婚式。夫になるレムは前科があつて、仕事がない。だからこの結婚式を姉二人は敬遠気味。結婚式にレムの元恋人がセクシーな格好で現れ、式の日レムとダンスを踊って挑発し陰悪なムードになる。ところが、二人のダンスのなかにマザーが入り、みんなに呼びかけ踊りだして、たちまち場を和ませてしまった。まさにソウル・フードをのまに、和を創る名人なのである。

長女テリー(ヴァネッサ・L・ウィリアムス)は優秀な弁護士で、夫マイルス(マイケル・ビーチ)も弁護士。家族では出世頭であり稼ぎ頭だ。次女マキシン(ヴィヴィカ・A・フォックス)は主婦、そして少年アマッドのママ。夫ケネス(ジェフリー・D・サムズ)とはとても仲がいい。三女バード(ニア・ロング)は美容師で、前科のあるレム(メーキー・ファイファー)と結婚する。

話は、アマッド少年とマザーを中心に、三つの家族のそれぞれのドラマをからめながら進展していく。





大阪ツイン21店



新時代のビジネスを、

華やかに演出します。

美味なる想い出のひとつを

東天紅でお過ごしください。



東京国際フォーラム店


東天紅
TOH - TEN - KOH

東天紅 大阪ツイン21店

4月5日(日)新装オープン

〒540-0001 大阪市中央区城見2-1-61
ツイン21 MIDタワー38階
TEL 06(947)5115

東天紅 東京国際フォーラム店

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
東京国際フォーラム ガラスホール棟7階
TEL 03-3211-1015



マザーは、娘たちが嫁いでも、毎日曜日には「日曜デイナー」という、自分の家で一家が集まり食事をする場を欠かさず設ける。ここでは、姉妹が手伝い、家族のことを語り、それぞれの悩みを打ち明ける。精神的に助け合い、もつともリラックスできる場がある。

しかし、糖尿病に冒されていたマザーは入院を余儀なくされ、日曜デイナーの習慣は途絶えてしまう。ここから、それぞれの家族に亀裂が入り始めるのだ。

長女テリーはマザーの入院費用の面倒を自分でもたされることに不服。おまけに夫は、弁護士から音楽家に転身しようとしており、夫婦間がギクシャクしている。そんなところへ従姉妹で元ストリッパーのフェイス（ジーナ・ラヴェラ）が行き場がなく居候することになる。テリーは常に自分が家族のやっかいごとの中心にいることに不満が募る。そんなとき夫とフェイスが不倫をし、夫婦間に亀裂ができてしまう。

三女は夫が就職できずにいるのに気を回し、昔の恋人に裏工作を頼んで、夫の就職を成功させる。ところがその工作が夫の知ることに、プライドを傷つけられた夫は激怒。そ

の勢いで飲んだバーで荒れて警察に通報され、また刑務所に逆戻りしてしまう。

そして、マザーは手術の前に亡くなった。「家族を團結させるのはお前の役目よ」と、死に際にマザーはアマッドに言葉を残す。

マザーの死後、家を売却しようとした長女テリーは言いだし、ますます三家族は険悪な雰囲気だ。家族がばらばらになっていくような不安にかられたアマッド少年は、ある策略を思いつく。マザーがこっそりお金を貯めていたという噂をもとに、このお金の在り処を最後に僕に教えてくれたと、三家族をマザーの家に集めるのだ。狙いは、ビッグ・ママのソウル・フードの再現である。はたして、家族の魂は呼び戻されるのだろうか。

この映画には、家族の絆と触れ合いや温もりといったものが、溢れている。おそらく、このソウル・フードの食事の場面に、だれしもが過ごしたであろう親や兄弟姉妹との集いを重ね合わせることだろう。出てくる手作りの食事のなんと幸せに満ちたことだろう。食べることは生命をつかさどる大切なもの、まさに魂のよりどころということを改めて教えてくれる、至福いっぱいの物語なのである。♪

『ソウル・フード』SOUL FOOD

(1997年アメリカ)

監督=ジョージ・ティルマン, JR

出演=ヴァネッサ・L・ウィリアムス/ヴィヴィカ・A・フォックス/ニア・ロング/
マイケル・ピーチ

20世紀フォックス提供 5月下旬より恵比寿ガーデンシネマにて公開